

RECARO FORMEL 3 CUP (ドイツF3) Round 1&2 in Oschersleben

第2戦 予選 レポート

4月 23日 (日)



結果 6番手

本日8:00から行われた第2戦の公式予選は、雨は止んでいるものの、昨夜の天気予報通り、朝方降った雨の影響により、昨日行われた第1戦の公式予選同様、完全なウェットコンディションとなった。昨日の予選時にあったアンダーステアの症状を改善すべく、予選開始間際まで松村選手はエンジニアとともにマシンセットアップに関するブリーフィングを精力的に行っていた。結局フロントウイングを少し下げ、フロントのスタビライザーも少しソフト方向へ振るといったセッティングで公式予選に望んだ。

序盤はタイヤを暖めながら、昨日犯してしまったスピンというミスを繰り返さないよう、慎重に周回を重ねて行った。全体的に昨日よりコースオフするマシンも少なく、イエローフラッグの提示回数も格段に減っていた。しかし、トップタイムと最後尾タイムでは15秒近い差があり、いかにクリアラップが取れるかが一つのポイントとなった。

中盤の松村選手は1分43秒台のタイムで5番手あたりにつけていた。しかし、その後遅いマシンに引っかかってしまい、なかなかタイムアップすることができず、一時は14番手近辺まで順位を落としていた。メインストレート上のアーチに表示されている残り時間のカウンターを見ていた松村選手は、自分の順位と残り時間を考え、何とかクリアラップを取らなければと意識的に他車との間隔を開けていった。そして、終盤残り5分というところでようやく一周おもいきりアタックすることができ、1分39秒5のタイムをマーク。一気に3番手まで順位を上げた。まだまだ踏んでいけると感じていた松村選手は、もう一周クリアで走れると更なるタイムアップを狙っていった。しかし、4コーナーにさしかかったところで、完全にアタックを止めスロー走行をしているにも関わらず、レコードラインのど真ん中を悠々と走行しているマシンに行く手を阻まれ、そこでタイムアップの望みが絶たれてしまった。

その松村選手とは反対に、松村選手が3番手タイムを計測した直後に3台のマシンが松村選手のタイムを上回り、結局6番手で予選を終えた。レースにタラレバはあり得ないので、とにかくクリアラップをきっちりと取れなかったことを心底反省し、次の予選時に同じことを決して繰り返さないと、決勝に向け気持ちを切り替えていた。昨日同様、決勝レース時にはドライコンディションとなりそうな空模様であり、「スタートがすべて」とサポートレースのスタートを利用し、シュミレーションを行っていた。

< 予選後のドライバーコメント >

クリアラップを満足に取れなかったことは、全くもって僕のミスです。でもウェットコンディションでのドライビングに対しては、かなり掴んできたので自信に繋がりました。スタートの失敗等、昨日してしまったミスを繰り返さないよう心がけて落ち着いて走り、優勝を目指します！

QUALIFY 2

出走 30台

POS	No.	DRIVER	NAT.	TIME
1	25	Nico HULKENBERG	GER	1:37.744
2	27	Riccardo AZZOLI	ITA	1:37.856
3	3	Joey FOSTER	GBR	1:38.459
4	16	Recardo BRUINS	KOR	1:38.809
5	46	Harald SCHLEGELMILCH	LAT	1:39.488
6	11	Hiroyuki MATSUMURA	JPN	1:39.506
7	10	Dominik SCHRAML	GER	1:39.806
8	31	Christer JONS	GER	1:39.860
9	42	Ronny WECHSELBERGER	GER	1:39.942
10	17	Dominick MUERMANS	NED	1:40.116

関連 Web Site

レーシングドライバー 松村浩之

Deutsche Formel 3 Vereinigung

SWISS RACING TEAM

<http://www.hiro-matsumura.com/>

<http://www.formel3.com/>

<http://www.swissracingteam.ch/>

